
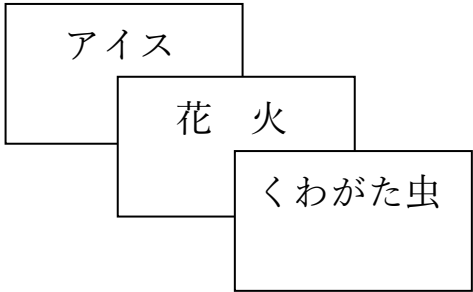
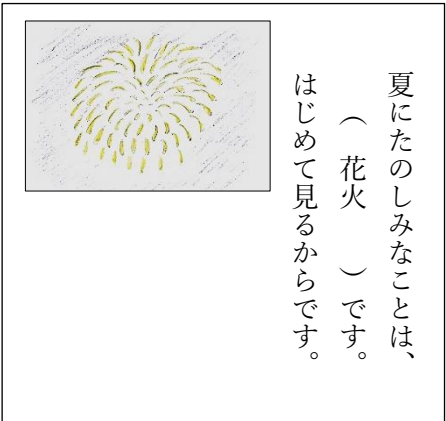




よく使う日本語

～を知っていますか？【確認】

ジェスチャーでやってください。【指示】～が楽しみです。～だからです。【理由】

基本的な流れ	指導のポイント
<p>1 夏の食べ物、植物、行事など、児童が知っているものを話す。あまり知らなければ、先生が教科書・絵本・PCなどで紹介する。(聞く・話す活動)</p> 	<p>○まずは児童から自由に発言させる。母国のものでもよい。難しければ先生が国語科や生活科の教科書、絵本などで紹介してもよい。知らないものはPCで画像・動画検索して見せるとよい。</p> <p>T:「夏の食べ物を知っていますか？」 S:「アイス、すいか、とうもろこしなどです。」</p> <p>T:「夏の植物・動物を知っていますか？」 S:「ひまわり、かぶと虫、くわがた虫などです。」</p> <p>T:「夏の行事を知っていますか？」 S:「お祭り、花火、水泳などです。」</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※高学年以上は、 ・これは何でしょう？とクイズ形式で紹介する。</p> </div>
<p>2 「夏」連想ゲームを行う。 (聞く・話す活動)</p>  <p>フラッシュカードのようにしておくとうよい</p>	<p>○夏に関するもののヒントを先生が次々に出す。ジェスチャーや音などもヒントになる。児童は、それが何かをできるだけ早く当てる。ヒントは実態に応じて出す。</p> <p>T:「虫です。黒です。はさみがあります。最初の文字は『く』です。」 S:「くわがた虫です。」</p> <p>T:「空にヒュ～ドーンと上がります。」 S:「花火です。」</p> <div style="border: 1px solid yellow; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント 3分間でいくつ当たるかなど競わせるとゲーム性が出て楽しめますが、分からなければパスを認めるなど無理なく進めましょう。 児童がヒントを出せそうなら、先生と役割を交代してやってみるとよいでしょう。</p> </div>
<p>3 「夏」に楽しみなことを絵と文で書く。 (書く活動)</p>  <p>夏にたのしみなことは、 (花火)です。 はじめて見るからです。</p>	<p>○季節の言葉を知り、使うことができるようにするための活動である。夏休みの宿題などの絵日記につなげるようにしてもよい。</p> <p>T:「夏の楽しみなことは何ですか？」 S:「花火です。初めて見るからです。」</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※高学年以上は、 ・国語の学習と関連させて、俳句や短歌、詩などを書く。</p> </div>

同様の授業を「春、秋、冬」でも行うことができる。季節の節目で行うと国語科、生活科と関連することができます。